



<http://recorder311.smt.jp/>

チャンネルガイド11月 前半

わすれんTV311とは、「3がつ11にちをわすれないためにセンター」にあるユーストリーム番組の放送局です。この放送局からは、市民、専門家、スタッフが協働して、一人ひとりの震災体験を語り直し、震災復興の支援活動を考える番組を放送します。各番組は上記ホームページからご覧いただけます。

*ユーストリームとは…動画のライブ生中継および共有ができるインターネットサービスです。

定禅寺ジャーナル

11/1 火・15 火 18:00 - 19:45

仙台のビッグイシュー販売者・鈴木太さんがさまざまなジャンルを斬る批評紙「定禅寺ジャーナル」のウェブ版。震災後の世界について本音で語り合います。

出演 鈴木太 (定禅寺ジャーナル編集長)
太田一彦 (フォト&ビデオグラファー)
門脇篤 (門脇篤まちとアート研究所)

主催 定禅寺ジャーナルウェブ版
<http://www.kadowakiart.com/jozenjijournal/>

第11回「工夫する」

ぬげだすこと、気づくこと、さまざまなしながらみや逆境からぬげだすということがいかなることなのかについて話し合った前回は受け、では具体的にぬげだすためにはどのような行動が必要なのかと言えば、それは工夫すること、クリエイティブであることと言えます。

*第12回のテーマは「忘れる」です。

支援のかたち

— 生放送！サポセンかわら版 —

11/6 日 14:30 - 15:30

第8回「情報発信をふりかえる」

震災発生から現在まで、震災の被害状況や支援活動についての情報を紙媒体とウェブで発信している方々をお迎えし、それぞれの立場から見た震災のこれまでについてふりかえます。

ゲスト 相原いずみ・村上千恵 (特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる 編集スタッフ)
八浪英明 (河北新報社 ネット事業部長)
太田貴 (震災復興支援活動情報 サポセンかわら版 編集部)
菅野祥子 (震災復興支援活動情報 サポセンかわら版 編集部)

主催 仙台市市民活動サポートセンター

*サポセンかわら版とは
仙台市市民活動サポートセンターが発行している復興支援活動に関する情報紙です。
<http://www.sapo-sen.jp/kawaraban>

つれちゃんゆれゆれ311

11/9 水 18:00 - 19:30

つれづれ団員が雑談しながら、震災体験を語ります。今回のゲストは、姉妹が登場。ガラスがもたらす小さな幸せとやさしい時間を届ける姉の奈未さん、震災後、仙台に生活を移した妹の麻里さん。311からこれまでの姉妹の心の変遷を、笑いあり涙ありでお届けします。震災にまつわるエトセトラを佐藤ジュンコの脱力オフビート系のイラストで記録します。

ゲスト 高橋奈未 (stained glass Ginga / どんぐり姉妹・姉)
高橋麻里 (どんぐり姉妹・妹)

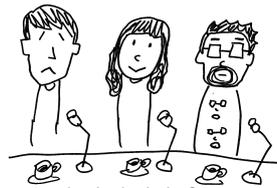
ホスト 桃生和成 (つれづれ団員)

イラスト 佐藤ジュンコ (書店員)

主催 3がつ11にちをわすれないためにセンター

協力 つれづれ団

つれちゃんゆれゆれ311



drawing by Junko Sato

*つれづれ団とは
2008年4月に結成された東北の日常生活を「遊び」でおもしろくするために活動している人々のゆる〜い集まりです。
<http://tsurezuredan.cocolog-nifty.com/>

リモコンマークがついている番組は、せんだいメディアテーク2階スタジオで観覧できます。*観覧者は映像に映りません。他番組については <http://recorder311.smt.jp/recorder311/> をご覧ください。

暮らしのシェア

11/10 木 18:30 - 19:30

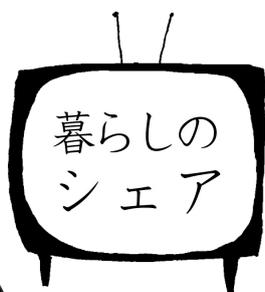
七ヶ浜町で、海苔と米の有機栽培に長年取り組まれている星博さんに震災体験をお伺いします。震災では養殖に必要な船や道具だけでなく、田んぼも津波の被害を受けました。現在、一刻も早く海苔と米を食卓に届けるため、毎日復旧作業に従事されています。星さんの仕事を通して、震災後の食と生活について考えます。

ゲスト 星博 (星のり店代表、海苔養殖・農家)

ホスト 小野朋浩 (小さな街)

主催 3がつ11にちをわすれないためにセンター

協力 せんだいコミュニティカフェ準備室 <http://sendaicommucafe.blogspot.com/>



なんとがなっぺTV

11/14 月 18:00 - 19:00

vol.2 「音楽の力～震災 その時、あなたにとって音楽の存在は？」

震災直後から被災した宮城在住の音楽に関わる方々がどのように音楽と接し、或いは接しなかったなどお聞きして「音楽」がいかな存在か聞いていくことで音楽のありかたを探っていこうと思います。

パネリスト 高橋哲男 (jai)

野崎さくら (仙台在住ミュージシャン)

主催 なんとがなっぺ project <http://nantoganappe.com/>



障がい者グラフィティ 11/16 水 14:00 - 15:00

vol.2 「福祉避難所って何だろう」

障がいがある人たちが日ごろから抱えていた様々なバリアは、今回の震災でより深層化、顕在化しました。このプログラムでは、異なる障がいを持つ人々やそれを支えた人々に、震災以前や震災直後の「これまで」と、復興の途にある「これから」を語っていただきます。また、非日常の中で体験した個々の思いや声を通じて、本当のノーマライゼーションとは何かを、市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

ゲスト 齋藤栄樹 (宮城野障害者生活支援センター ハンズ宮城野 主任相談員)

ホスト 伊藤清市 (NPO 法人ゆにふりみやぎ代表)

及川智 (CIL たすけっと代表、被災地障がい者センターみやぎ代表)

主催 NPO 法人ゆにふりみやぎ

CIL たすけっと

3がつ11にちをわすれないためにセンター

協力 被災地障がい者センターみやぎ



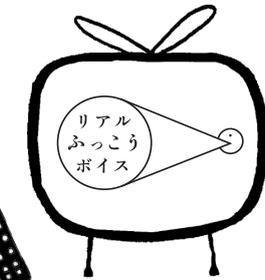
リアルふっこうボイス

11/17 木 18:30 - 19:30

「復興計画のこと」

震災から8ヶ月。各自治体で復興計画が主旨まとまってきた。とにかく早く早くと進められた復興計画は何が盛り込まれているのか。財源は？ 隣の自治体との調整は？、そして住民のこえは？これまでの配信をふまえて、まちづくりに取り組む学生たちが、復興計画のことを考えます。

主催 まちづくり部 <http://sites.google.com/site/fukkovoic/>



放送終了後もホームページでご視聴いただけます! <http://recorder311/smt/jp/>

3がつ11にちを
わすれない
ためにセンター

当センターでは、市民、専門家、スタッフが協働し、復旧・復興のプロセスを独自に発信、記録していきます。さまざまなメディアの活用を通じ、情報共有、復興推進に努めるとともに、収録された映像、写真、音声、テキストなどを「震災復興アーカイブ」として記録保存します。



お問い合わせ
せんだいメディアテーク 企画・活動支援室
〒980-0821 仙台市青葉区春日町 2-1
Tel:022-713-4483 / Fax:022-713-4482
E-mail:wasuren@smt.city.sendai.jp
Twitter/Ustream/Facebook:@recorder311